

2026年度ゼミ（演習1）要覧

担当者名	青柳 寛
演習テーマ	ポップカルチャー探究への扉
演習の内容	<p>「学びのホームルーム」、「卒論研究萌芽スタジオ」、そして「人生設計」を兼ね合わせた本ゼミでは、3年次以降のゼミで専門的に取り組んでいくことになる文化探究演習の地盤づくりを行います。そして今年度は「ポップカルチャー研究」をテーマに学術的な吟味考察を行い、履修生各位の知的エンパワーメントを図ります。</p> <p>熱意と目的意識を持ってゼミの運用に参画する有志のみなさんはぜひおいでください！Popular Cultural Studies (PCS:流行文化学)の国際的な潮流とこれまでの沿革を把握しながら、次年度以降の自身の本格的な卒論研究への取り組みに備えたいと思います。</p>
テキスト・参考書	一同で関連する学術文献を幅広く参照しながら、自前のテキストブックこと「学びのマイジャーナル (MJ)」を編纂して参ります。
成績評価の基準	参加度 (60%)、ジャーナル (40%)
校外実習	実施しない
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	N/A
選考方法	<p>★説明会への参加（必須）</p> <p>★志望理由書による書類選考：A4用紙裏表（両面1枚）に自己PRと併せて履修動機、探究課題と目的、卒業までの取り組み計画を説明したWord文書（MSP明朝12フォント基準）を説明会当日持参してください。</p> <p>★12名を超えた場合、理由書と成績をベースに選定いたします。</p>
小論文 （テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）	上記「選考方法」中の理由書をご用意ください。特に小論文の類は要求いたしません。
メールアドレス	aoyagih@k.meijigakuin.ac.jp
説明会	<p>【第1次】5月7日（木）、8日（金）、11日（月）：各昼休み@842教室</p> <p>【第2次】6月5日（金）、6月8日（月）：各昼休み@842教室</p> <p>※1次説明会で定員到達した場合、2次説明会は行わない。</p>
履修済・履修中であることが望ましい授業	<p>文化研究系の科目</p> <p>※いずれもただ「履修した」というのではなく、そこでどんな学びが得られたかよく振り返りながらおいでください。</p>
2027・2028年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	2028年度は開講しない。よって、本2027年度演習1を履修されるみなさんにおかれては、修了後の演習2を他の先生（方）の指導下に行い、希望次第で演習3に青柳担当に戻ることを理解の上で履修計画を立ててください。

認定留学期間中（演習 2・3 開講学期中）の <u>遠隔指導*</u>	面談・打ち合わせの上で可
備考	「ポップカルチャー」のネームヴァリューに惹かれて安易に履修を求めないこと！～文化学的な専門性を極めていくための真摯な取り組みへの意欲と学びの目的意識を持っておいでください。駆け込み等は固くお断りいたします。

* 「遠隔指導」については、「演習1」選考に関するガイダンス資料を確認のこと。